

講義名	教養特講Ⅰ（少子高齢社会を生きる）		
科目区分	教養特講		
担当教員	中西 一人		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 5時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

従来の福祉は「限られた者の保護・救済」が主たる目的であったが、ニーズの多様化・一般化を受け、福祉は国民全体を対象に「個人の尊厳を尊重した自立支援」へと変容を果たしつつある。一方で、日本は、少子高齢化と人口減少の同時進行に二重対峙することを余儀なくされており、福祉施策についてもさらなる転換が求められているといえよう。そこで、高齢者福祉と児童福祉を中心にその理念や制度の発展過程を振り返りつつ、今後の福祉のあり方について考察する

到達目標

①社会保障制度について理解する。
②現在、日本がおかれている状況を理解する。

提出課題

なし。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

評価の基準

授業中の受講態度及び15回目の授業内での「まとめのテスト」で総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

学生諸君にとって、ある意味切実な課題でもあり、身近な課題でもあるので、日頃から我がこととして問題意識を持つようになしてください。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

資料：その都度プリントを配布する。参考文献：国が発行している関連の白書

授業計画

- 1 オリエンテーション&イントロダクション
- 2 人口構造の変化と将来展望
- 3 社会保障の種類、目的と機能
- 4 社会保険（年金）
- 5 社会保険（医療）
- 6 社会保険（介護）
- 7 公的扶助
- 8 社会福祉（家族）
- 9 社会福祉（子育て）
- 10 社会福祉（労働、雇用）
- 11 社会福祉（住まい、移動）
- 12 社会福祉（住まい、移動）
- 13 公衆衛生
- 14 コミュニティ
- 15 まとめ（持続可能な社会の構築に向けて）、まとめのテスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業計画に沿って、関連する項目について各自の問題意識や疑問点を整理おくこと。（約2時間）
復習：授業で取り上げた課題について、参考文献を自学する等により関心を深めること。（約2時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：県職員として高齢者保健福祉計画策定業務や保健福祉施策の総合調整業務で培った知識や経験を踏まえ、授業に反映させる。

備考